

# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		水辺環境の整備			款	5	項	3	目	3	事業	2	整理番号	406		
担当部課名		都市整備部土木計画課			係名	施設整備係			連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	416			
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		3	施策	8	計画事業	1	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)沿川の居住者及び利用者等			内部管理		根拠法令等		(1) 地方自治法第281条2項 (2) 河川法第16条の2						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)													
			(1) 水鳥一斉調査(20年度からの累計) (2) シンポジウム開催(20年度からの累計)													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等													
		○都市化の進展により失われつつある良好な水辺空間を取り戻すため、人と水とのふれあいの場づくりや老朽化した護岸補修や河床保護等の整備を進め、河川環境の充実を図ります。また、多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境を再生・創出ことを目的として、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に区民と協働して取り組みます。 ○潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に係る行動計画の検討を行い、計画的に事業を進める。 ○東京都が実施している河川整備において、協議や調整等を図りながら自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。														
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	回	3	4	4	5	5	6	100.0						
	活動指標(2)	2	回	3	4	4	5	5	6	100.0						
	成果指標(1)	3	%	71.2	71.0	71.6	72.0	70.7	73	98.2						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	3,989	2,402	2,343	1,986	1,683	2,504	24年度予算執行率(%)		84.7			
	(内)投資的経費等		6	千円	3,491	1,750	1,699	1,235	995	1,735	<b>特記事項</b> 修繕工事の翌年度への変更による執行残です。活動指標を26年度までの実行計画の内容へ修正しました。また、実施していない成果指標を削除しました。					
	(内)委託費		7	千円	3,491	1,755	1,704	1,240	995	1,740						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.29	1.50	1.58	1.20	1.36	0.70						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	20,427	13,350	14,062	10,440	11,832	6,090						
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	24,416	15,752	16,405	12,426	13,515	8,594						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	6,975,000	3,500,500	3,676,500	2,238,200	2,504,000	1,143,167						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	24,416	15,752	16,405	12,426	13,515	8,594							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 406

24年度 の事業 実施 状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)		
		(1) 主な取組み	河川緑化等検討委託	1	件	497
			水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	498
			水鳥一斉調査と善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムに関する謝礼金	2	件	119
			その他( )			569
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の緑化等について検討を行いました。</li> <li>・善福寺川で見られる鳥の生息状況を把握するため区民参加による水鳥一斉調査を実施しました。</li> <li>・事業の周知と区民意見を把握するためシンポジウムを開催しました。</li> <li>・善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動計画の検討を行いました。</li> </ul>					

事業 環境 の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	親水性のある散歩道整備等を目的として立ち上げられた事業ですが、現在、区では河川などの大規模な改修は少なく、河川をより身近なものとして感じられる施設(キロポスト整備・流域案内板設置・河川緑化等)の整備や日常の維持管理に付随する経年劣化に伴う護岸補修や河床保護等を進めています。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・ 要望・苦情など)	河川は治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されつつあります。豊かな自然資源である水とみどりを大切にしたいとする区民意識の高揚を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを積極的に推進することが期待されています。		
	今後の予測	水辺は貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えると同時に、まちの景観形成や余暇の有効活用等において、重要な役割を果たしています。特に近年では、まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。		
評価と課題	安全な河川環境を維持するため護岸改修や河床保護を進めてきました。区内の3河川は区民の貴重な財産と考えますので、都と連携した河川整備を進めながら安全で魅力的な水辺環境をつくってまいります。さらに、善福寺川において、潤いと安らぎのある水辺空間の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に区民とともに取り組んでまいります。			

改善・ 見直し の 方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。これからの実現に向け、地域住民を巻き込んだソフト事業を継続的に展開するとともに、東京都をはじめとした関係機関の事業との連携による、水辺環境再生を視野に入れたハード事業の実現について検討・調整が必要と考えます。また、近い将来訪れる護岸や親水施設等の老朽化による維持管理・更新などのコストを抑えるため、これらの延命化対策についても研究・検討を行う必要があると考えます。					

# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	1	整理番号	419
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	429	
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象	区立公園318園 公園利用者			内部管理									
					施設維持管理	1	根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民が安全で快適に利用できる公園にします。				活動指標名(式) (1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	m <sup>2</sup>	600937.20	607439.64	606677.19	610877.05	607487.40	613850.45	99.4				
	活動指標(2)	2	件	1,274	0	1,298	0	1,201	0					
	成果指標(1)	3	%	75	80	76								
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	552,458	571,840	566,462	561,664	557,082	589,306	24年度予算執行率(%) 99.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	40,169	58,905	55,134	19,076	24,227	32,296	特記事項 ●平成22年度の区立公園管理面積の実績数値及び平成23・24年度の区立公園管理面積の計画数値に誤りがあったため、訂正しました。 ●活動指標(2)について、件数の算出方法について見直しをおこなったため、平成22・23年度の数値を訂正しました。				
	(内)委託費	7	千円	476,995	499,805	494,639	483,051	478,645	503,534					
	職員数	常勤職員数	8	人	30.10	25.60	26.31	22.60	23.05					17.70
		再任用職員数	9	人	44.55	49.66	49.66	32.95	32.99					32.70
		非常勤職員数	10	人				20.11	20.11					21.28
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	268,492	227,840	234,159	196,620	200,535					153,990
		(内)再任用職員分	12	千円	131,423	152,953	152,953	129,494	129,651					128,511
		(内)非常勤職員分	13	千円				55,303	55,303					58,520
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	952,373	952,633	953,574	943,081	942,571	930,327					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,518	1,471	1,481	1,513	1,512	1,463					
	財源	受益者負担分	16	千円	11,544	11,597	11,018	12,485	13,465					11,767
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	11,544	11,597	11,018	12,485	13,465	11,767					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	940,829	941,036	942,556	930,596	929,106	918,560					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.3						

## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 419

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		園地清掃委託	557,937	m <sup>2</sup>	187,305
		樹木、花壇、除草等管理委託	557,937	m <sup>2</sup>	144,517
		流れ、排水設備、防災設備等保守点検委託	47	園	64,011
		遊具等公園施設補修工事	318	園	42,310
		その他( その他の園地維持管理費 )			118,939
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	維持管理業務を一括して委任した桃井原っぱ公園と指定管理者制度による大田黒公園を除いた316園の園地清掃委託等による公園維持管理を実施しました。 南・北公園緑地事務所の直営作業員については、退職不補充のもと再任用職員を配置する体制を組むとともに、公園維持管理資機材運送及び特別美化業務委託の実施により、特別美化業務2班を追加することで、遊具の安全点検を含めた施設の安全性の確保を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	開園してから30年以上経過しながら、ほとんど手を加えられていない公園が80程度あり、老朽化が進むとともに安全性の低下が心配されます。 一方、公園緑地事務所の職員体制が維持できないことから、日常の安全点検や要望に迅速に対応できる新たな体制づくりが求められています。そのため、早急に仕事内容の抜本的見直しと業務の一部委託化を進めていながら、遊具の安全点検を含めた施設の安全性の確保を行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	公園事業			款	5	項	4	目	1	事業	2	整理番号	420	
担当部課名	都市整備部みどり公園課			係名	公園利用係			連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号	430		
上位施策No・施策名	8 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	<input type="checkbox"/> 計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象	公園利用者 公園ボランティア団体			内部管理	根拠(1) 都市公園法								
					施設維持管理	等(2) 杉並区公園条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少します。 ○地域住民ボランティアによる公園管理が増えます。			活動指標名(式)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○公園利用調整:公園占用許可の調整や受付を行う。また、占有者と一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合を行う。 ○公園利用指導:不適切な公園利用に対し、職員や夜間安全パトロールによる適正利用指導を行う。 ○公園ボランティア活動支援:公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
				成果指標名(1) (代) 占用申請利用件数										
				算定式・指標の説明等										
				成果指標名(2) (代) 要望件数÷公園数										
				算定式・指標の説明等 児童遊園、遊び場含む										
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	団体	160	180	159	175	163	180	93.1				
	活動指標(2)	2	台	1,226	1,229	1,229	1,226	1,226	1,226	100.0				
	成果指標(1)	3	件	709	700	831	850	861	900	101.3				
	成果指標(2)	4	件	4	4	4	3	5	4	166.7				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	60,771	61,491	56,406	57,670	57,125	58,535	24年度予算執行率(%)	99.1			
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内) 委託費	7	千円	50,989	45,907	45,566	45,930	45,822	46,357					
	職員数	常勤職員数	8	人	3.50	4.30	4.40	4.30	4.11	4.00	平成25年3月31日公園数 区立公園=262 区立児童遊園=51 緑地=5 遊び場=16 計=334			
		再任用職員数	9	人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00				
	人件費	(内) 常勤職員分	11	千円	31,220	38,270	39,160	37,410	35,757	34,800			財源の受益者負担分の25年度計画見込み減は公園占用料が改定したため。	
		(内) 再任用職員分	12	千円	2,950	0	0	0	0	0				
		(内) 非常勤職員分	13	千円				0	0	0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	94,941	99,761	95,566	95,080	92,882	93,335					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	593,381	554,228	601,044	543,314	569,828	518,528					
	財源	受益者負担分	16	千円	1,588	1,622	1,588	1,619	1,759	1,504				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,588	1,622	1,588	1,619	1,759	1,504					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	93,353	98,139	93,978	93,461	91,123	91,831					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.7	1.6	1.7	1.7	1.9	1.6						

## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 420

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		安全パトロール経費	1,226	台	45,236
		花咲かせ隊経費	123	団体	8,003
		すぎなみ公園育て組経費	40	団体	1,761
		その他( 犬のしつけ方教室 )			2,125
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成24年度の「すぎなみ公園育て組」は、平成23年度末40団体から5増5減で団体数に変更ありません。 平成24年度の「花咲かせ隊」は、平成23年度末119団体から6増2減し、全体数は4増になり123団体です。 夜間安全パトロールは365日毎日実施しています。区立公園での迷惑利用に対して注意指導を行うだけではなく、夜間の突発的な事件の情報収集にも役立っています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度から始まった「すぎなみ公園育て組」ともに知名度が上がり、参加団体数は着実に増えています。しかし、人手が集まらないや高齢のため維持できないとの理由で脱退する団体も増えてきており、平成24年度には花咲かせ隊、公園育て組あわせて7団体が脱退しています。 公園の夜間安全パトロールについて指導の依頼は多く、平成22年度から夏場は3台から1台増やし4台でパトロールを行っています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公園の夜間安全パトロールの実施により、夜間の迷惑行為に対し、具体的な対応策がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。
	今後の予測	花咲かせ隊、公園育て組とも今後も新規団体の参加が予想されますが、構成員の世代交代により継続的な作業が進まないことから、総団体数の減少も考えられます。 夜間安全パトロールについては、夜間だけではなく早朝の犬の放し飼いなどの迷惑利用に対応するため、更なる取組みが必要です。
	評価と課題	「花咲かせ隊」=123団体、「すぎなみ公園育て組」=40団体と活動を通じてみどりとのふれあいや、地域コミュニティの活性化に貢献しています。 安全パトロールは、夜間に公園を巡回し迷惑利用に対する指導を行っておりますが、生活の多様化から夜間、早朝の迷惑利用に対する更なる指導要望が増えています。また、不審者等に対する情報収集も行い、安全なまちを支えていく上では欠くことの出来ない事業となっています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	● 対象の見直し	
	<p>○安全パトロールは、危機管理室を中心に365日終日区内を巡回し地域の安全を守っています。特にみどり公園課では、深夜・早朝の区立公園や公共施設などにおいて、不法行為や不適正利用などに指導啓発を行っています。また公園内の球戯場門扉の朝夕鍵の開閉業務も行って、今後も区民の様々な意見要望に対応し、公園と地域の安全安心を確保していくため必要な事業です。これからも、公園の迷惑利用に速やかに対応する効率的な巡回に取り組んでいくが、生活様式の多様化により深夜、早朝の迷惑利用に対する指導や防犯に対する要望が増加していくと考えられます。 公園の安全パトロールにおける、平成24年度の区民一人あたり一日の経費は、45,236千円/365日/541,253人=0.23円です。</p> <p>○活動中のボランティア団体については、世代交代が進み、発足当初に比べ活動レベルの低下や団体数の減少が考えられます。今後は、各ボランティアの活動状況をきめ細かく把握し、区との役割分担を明確にし、活動が楽しく継続的に続けられよう適切な支援を行います。ボランティア団体と良質な協力関係を保ち、美しい公園の維持に努めます。 花咲かせ隊における、ボランティア一人あたり年間の経費は、8,003千円/1,008人=7,939円です。</p>					



# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 421

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		遊び場102番(NHK及び旧印刷局グラウンド)の清掃、除草、管理委託等	79,542.79	m <sup>2</sup>	17,993
		(仮称)下高井戸公園(遊び場106番)の清掃、除草、管理委託等	43,820.12	m <sup>2</sup>	11,699
		他の遊び場の樹木管理、除草等	12,464.4	m <sup>2</sup>	4,402
		他の遊び場の清掃等	12,464.4	m <sup>2</sup>	3,213
		その他(他の遊び場の管理運営費、維持補修ほか)			4,125
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	遊び場102番、平成24年12月から暫定開放した遊び場106番ほか14箇所の遊び場の清掃、除草、管理委託等を行ないました。 また、遊び場102番の旧印刷局グラウンド用地を東京都が国から購入したため、東京都に対し無償使用許可に関する手続きを行い、平成25年3月に無償使用許可がおりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	遊び場は、区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、今後も貴重なオープンスペースとして有効利用していきます。 遊び場102番(NHKグラウンド、旧印刷局グラウンド)については、都市計画公園事業が開始されるまでの間、暫定的に開放、利用することにより、オープンスペースの有効利用と確保を図っていきます。また、今後の都市計画公園事業については、東京都から情報収集を行い、情報の共有に努めていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	



# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園等の整備			款	5	項	4	目	1	事業	4	整理番号	422		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	432			
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		3	施策	8	計画事業	4	6	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		区立公園 公園利用者			内部管理		根拠 (1) 都市公園法								
						施設維持管理		等 (2) 地方自治法第281条								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができます。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できます。			活動指標名(式)										
					(1) 当該年度に新設、拡張整備した公園数											
					(2) 当該年度に整備した公園面積											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○公園の新設及び拡張整備 ○区民一人当たり5㎡の都・区立公園面積を目標に公園を整備。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
					成果指標名(1)		区民一人あたりの都区立公園面積									
					算定式・指標の説明等		公園・緑地等面積÷人口									
					成果指標名(2)		区立公園の面積									
					算定式・指標の説明等											
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	園	5	3	2	2	3	7	150.0						
	活動指標(2)	2	㎡	43153.31	5843.31	5739.99	4271.46	810.21	6568.28	19.0						
	成果指標(1)	3	㎡/人	1.98	1.98	2.00	2.09	2.07	2.08	99.0						
	成果指標(2)	4	㎡	600,937.20	607,439.64	606,677.19	610,877.05	607,487.4	613,850.45	99.4						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	71,839	90,474	90,455	6,036,242	6,036,184	3,332,481	24年度予算執行率(%)	100.0					
	(内) 投資的経費等	6	千円	71,839	90,138	90,121	6,032,711	6,032,691	3,298,849	特記事項 平成24年度に開園を予定していた荻窪団地建替に伴う提供公園(3,591.49㎡)が、25年度の開園予定となったため、24年度の実績数値が減少となりました。 平成24年度は、東京電力総合グランド跡地の用地取得費(約59億円)がありました。 平成25年度は、荻外荘の用地取得費(約31億円)が見込まれています。						
	(内) 委託費	7	千円	71,838	85,341	85,339	54,453	54,397	104,670							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.38	1.90	2.10	1.00	2.35							5.50
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							0.00
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00							0.00
	人件費	(内) 常勤職員分	11	千円	12,310	16,910	18,690	8,700	20,445							47,850
		(内) 再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0							0
		(内) 非常勤職員分	13	千円				0	0							0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	84,149	107,384	109,145	6,044,942	6,056,629	3,380,331							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,462,000	5,748,667	9,512,000	6,115,500	7,979,333	11,640,286							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0							0
		国からの補助金等	17	千円	26,000	38,500	36,000	1,951,000	976,000							1,272,880
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	26,000	38,500	36,000	1,951,000	976,000	1,272,880							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	58,149	68,884	73,145	4,093,942	5,080,629	2,107,451							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 422

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(仮称)下高井戸公園用地取得	43,392.61	m <sup>2</sup>	5,980,800
		(仮称)下高井戸公園補修工事			48,280
		久我山中央緑地拡張整備工事	578.14	m <sup>2</sup>	3,611
		その他(委託費ほか)			3,494
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年7月東京電力総合グランド跡地を(仮称)下高井戸公園用地として取得しました。</li> <li>取得した東京電力総合グランド跡地について、公園の本格整備までの間、一時的な遊び場として供用するため、補修工事を行い、12月から遊び場106番として暫定開放を始めました。</li> <li>久我山中央緑地は、平成23年度に用地取得した区域を含め、管理施設の設置などの整備を行いました。</li> </ul>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。 みどりを残すこと、また地域の防災機能を向上させるため、公園として整備して欲しいという機運が高まっています。</p> <p>(仮称)下高井戸公園が整備されることにより、方南和泉地区に地域公園が整備され、杉並区7地域全てに地域公園が整備されることとなります。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>空き地や駐車場、貴重なみどりが残る民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。取得した公園用地を早く公園にして欲しいという要望があります。</p>
	今後の予測	<p>震災の経験から、防災意識の向上やオープンスペースの重要性などから公園の必要性が高まっています。</p> <p>一人当たり公園面積5㎡の確保が、より一層望まれます。</p> <p>企業グラウンドや住宅の処分、公共施設の再配置などにより比較的大きな土地が公園用地候補となる可能性があります。</p>
評価と課題	<p>区民一人あたり公園面積は、平成15年4月1日の1.76㎡/人から10年後の平成25年では2.07㎡/人と着実に増加していますが、平成24年報告(公園調書 東京都建設局)によると23区中では20番目となっており、いまだ低い状況にあります。</p> <p>一方、少子高齢化に伴い、区民ニーズと時代の変化を捉えた公園の整備が求められています。今後は、地域の特性にあった公園配置と特長ある公園の整備促進が必要となります。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
	<p>・既存公園の整備状況に基づき、重点的に整備が必要な公園配置を検討し、用地取得を計画的に進めていきます。地域状況に合わせて公園をバランス良く配置し、民間のみどりと併せて区内全体がみどりでつながった住宅都市づくりを目指していきます。</p> <p>(仮称)下高井戸公園のような地域公園は、これをバランス良く配置することで区全体の防災性が向上し、みどりの骨格づくりとなります。</p> <p>・みどりの拠点となる屋敷林や企業グラウンド、公共施設の統廃合や再配置等により空地となる可能性のあるまどりのある土地を公園候補地とし、常にリストアップし、公園化を目指していきます。</p>		

# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園のリニューアル			款	5	項	4	目	1	事業	5	整理番号	423		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583			昨年度整理番号			
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			投資事業			新規事業					
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		区立公園 公園利用者			内部管理		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○公園のリニューアルにより、区民が一層、安全で快適に公園を利用することができます。			活動指標名(式)		(1) 平成24年度からの全面・部分改修公園数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○既設公園の全面或は部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 ○老朽化した遊具などの施設を改修する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 「公園や広場」が良いと思っている人の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	園			0	0	2							
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	%			80	75.6	80		94.5					
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円			31,652	31,440	64,478		24年度予算執行率(%)		99.3			
	(内)投資的経費等		6	千円			30,614	30,405	57,800		特記事項					
	(内)委託費		7	千円			31,614	31,403	64,340							
	職員数	常勤職員数		8	人			0.80	1.60	1.80						
		再任用職員数		9	人			0.00	0.00	0.10						
		非常勤職員数		10	人			0.00	0.00	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	0	6,960	13,920	15,660						
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	393						
		(内)非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	38,612	45,360	80,531							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円					11,365,500							
	財源	受益者負担分		16	千円			0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円			0	0	0						
都からの補助金等		18	千円			0	0	0								
その他の補助金等		19	千円			0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	38,612	45,360	80,531								
受益者負担比率(16÷14)		22	%			0.0	0.0	0.0								

## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 423

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		遊具等改修工事(北)				7,067
		園路改修工事	207.8	m <sup>2</sup>		2,001
		久我山東原公園真砂土舗装工事				1,295
		大宮前公園流れ改修工事				1,298
		その他( 流れの改修工事ほか )				19,780
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>・老朽化した遊具や流れの施設などの改修を行いました。</p> <p>・傷んだ舗装の改修、手すりの設置など、バリアフリー化を進めました。</p>					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。</p> <p>公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象が子どもからお年よりまで幅広くなっています。</p>
事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>高齢者が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。</p> <p>花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。</p> <p>球戯場は、利用面での課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が聞かれます。</p>	
今後の予測	<p>開園後、30年間改修が行われていない公園が全体の4分の1もあり、公園の老朽化と安全性の低下が懸念されます。今後更に少子高齢化が進む中で、公園に対するニーズと利用者層の多様化が一層進みます。</p> <p>公共施設の安全性、利便性の向上が更に求められます。</p>	
評価と課題	<p>少子高齢化に伴い公園に対するニーズが多様化していますが、高齢者が利用できる施設がない公園では要望に十分に答えることができていません。また、設置してから時間の経つ遊具は最新の安全基準を満たしていないものも多く、順次改修を進めていても追いつかない状況にあり利用者の安全を確保していくことが課題となっています。</p> <p>球戯場は設置から30年ほど経過しているものがあり、建替えなど、今後の施設計画の見直しが課題となっています。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充      ○ 現状維持      ○ 縮 小      ○ その他
	II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し      ○ 実施主体の見直し      ○ 対象の見直し	
<p>既存公園の再生と有効活用を図るため、公園遊具の改修やバリアフリー対策といった改修を計画的に進めていきます。健康遊具の設置など高齢者の利用を促進する公園づくり等、区民の公園ニーズの変化に迅速に対応していきます。</p>			

# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園の改修			款	5	項	4	目	1	事業	6	整理番号	424		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	433			
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	13	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		区立公園 公園利用者			内部管理		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○公園の改修により、区民がより安全で快適に公園を利用できるようにします。 ○公園の特色づけにより、区民が公園で楽しく過ごせるようにします。			活動指標名(式)		(1) 平成13年度からの改修公園数の累計 (2) 整備した特色あるコースの累計								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○老朽化した区立公園の主要施設を大幅に改修する。 ○公園の特色づけのため、花木やテーマに沿った樹木を植栽する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 公園改修率 算定式・指標の説明等 改修公園累計数÷公園改修予定数(29園) 成果指標名(2) 特色あるコース整備率 算定式・指標の説明等 コース整備数÷コース整備予定数(10)						
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	園	22	25	23	24	24	—	100.0					
	活動指標(2)		2	コース	15	15	15	15	15	—	100.0					
	成果指標(1)		3	%	75.9	86.2	79.3	82.7	82.7	—	100.0					
	成果指標(2)		4	%	100	100	100	100	100	—	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	76,910	73,197	51,301	20,413	20,413	—	24年度予算執行率(%)		100.0			
	(内) 投資的経費等		6	千円	76,910	73,197	51,209	20,413	20,413	—	特記事項 当事業は平成24年度をもって終了となったため、25年度計画欄は未記入となります。					
	(内) 委託費		7	千円	25,232	73,119	51,224	20,413	20,413	—						
	職員数	常勤職員数		8	人	1.92	1.90	2.20	1.50	0.31						—
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						—
		非常勤職員数		10	人				0	0						—
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	17,126	16,910	19,580	13,050	2,697						—
		(内) 再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0						—
		(内) 非常勤職員分		13	千円				0	0						—
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	94,036	90,107	70,881	33,463	23,110	—						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	778,455	676,400	855,304	543,750	112,375	—						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0						—
		国からの補助金等		17	千円	0	20,000	14,651	0	0						—
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0						—
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	—							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	20,000	14,651	0	0	—							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	94,036	70,107	56,230	33,463	23,110	—							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—							

## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 424

24年度の事業実施状況		内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		(1) 主な取組み	与謝野公園改修工事(その2)	1,396.15	㎡	20,413
			その他( )			0
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>・南荻窪中央公園を拡張整備を含めて改修を行いました。 また与謝野鉄幹・晶子にゆかりのある場所であることから、園名も「与謝野公園」と改名しました。</p>					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>現在300を越える区立公園のうち、約1/3が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。 公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象がこどもからお年よりまで幅広くなっています。</p>		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>高齢者が利用できる健康遊具や施設を望む声が増えてきています。 既存の球戯場については、騒音やボールの飛び出しへの苦情が寄せられます。一方で新設の要望もあります。 花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。</p>		
	今後の予測			
評価と課題	<p>当事業により、既存公園を改修し、公園を魅力ある公園として再生することができました。最近では、南荻窪中央公園を全面改修し、園名も「与謝野公園」と改名し、特長をもった公園として利用者に喜ばれています。</p>			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> その他		
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し
<p>当事業は、「公園のリニューアル」事業に移行します。</p>					

# 平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		みどりを育てる		款	5	項	4	目	2	事業	1	整理番号	425					
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	435							
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業												
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	48	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		3	施策	8	計画事業	2	3	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	带状のみどり空間を創出する活動主体、みどりに関心のある個人、屋敷林所有者、みどりの協定締結者、みどりのボランティアに関心のある人など		内部管理		施設維持管理		根拠 (1) 杉並区みどりの条例 等 (2) 都市緑地法										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)															
	地域緑化に関する普及啓発事業の推進を通して、区民等の緑化意識の醸成を図ります。		(1) みどりの新聞の発行部数 (2) みどりの講座・イベントの開催数															
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																
○緑化に関する印刷物の発行やみどりのボランティアの育成、みどりに関する講座の開催等を行う。		成果指標名(1)		緑被率(24年度)		算定式・指標の説明等		概ね5年毎に実施する「杉並区みどりの実態調査」による、区全域に占める樹木被覆地等の割合										
		成果指標名(2)				算定式・指標の説明等												
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)		1	部	70,000	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0								
	活動指標(2)		2	回	5	4	4	4	4	100.0								
	成果指標(1)		3	%	21.84	25.00	21.84	25	22.17	25	88.7							
	成果指標(2)		4															
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	9,161	10,590	8,024	36,492	33,589	19,840	24年度予算執行率(%) 92.0							
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	<b>特記事項</b> ・24年度区政経営計画書において、「みどりを守る」に記載されている「(仮称)杉並区緑地保全方針」の検討は、事務事業名「みどりを育てる」で記載します。							
	(内) 委託費		7	千円	3,085	3,201	3,060	29,190	28,261	13,238								
	職員数	常勤職員数		8	人	4.50	3.85	4.04	4.00	4.46			4.05					
		再任用職員数		9	人				0.00	0.00			0.12					
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00					
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	40,140	34,265	35,956	34,800	38,802			35,235					
		(内) 再任用職員分		12	千円				0	0			472					
		(内) 非常勤職員分		13	千円				0	0			0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	49,301	44,855	43,980	71,292	72,391	55,547								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	704	1,282	1,257	2,037	2,068	1,587								
	財源	受益者負担分		16	千円	29	105	11	50	1			50					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0			0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0			0					
その他の補助金等		19	千円	0	252	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	29	357	11	50	1	50									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	49,272	44,498	43,969	71,242	72,390	55,497									
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1									

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 425

24年度の事業実施状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	みどりの実態調査委託等				25,197
	高円寺モデル地区におけるみどりのベルトづくり				1,864
	みどりの新聞等印刷物の発行	38,800	部		1,817
	みどりの顕彰制度『後世にのこしたい杉並の屋敷林』実施				904
	その他( みどりの講座の開催、ボランティア保険の加入 ほか )				3,807
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>・5年ごとに「みどりの実態調査」を実施し、調査の結果、緑被率22.17%、直径30cm以上の樹木本数37,430本、面積300㎡以上の樹林 178.29haがありました。</p> <p>・「みどりのベルトづくりセミナー」を開催し、高円寺みどりのベルトづくりで蓄積した成果を発表したところ、新たなベルト箇所候補があがり、事業をつなげることができました。</p> <p>みどりの新聞 35,000部 緑化副読本 3,800部</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より平成9年まで減少を続けてきましたが、平成14年、19年、24年と増加しており、概ね減少傾向に歯止めが掛かっています。一方で、後世に継承すべき生産緑地や屋敷林などは減少しています。</p> <p>緑被率推移 24.02%(S47)、21.56%(S52)、20.84%(S57)、19.90%(S62)、18.97%(H4)、17.59%(H9)、20.91%(H14)、21.84%(H19)、22.17%(H24)</p>			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>区民の緑化意識の高まりを反映して、印刷物や講座に対する関心は高く、要望や投稿などがあります。</p> <p>平成24年度に行われたみどりの顕彰制度で「後世に残したい杉並の屋敷林」の募集をしたことで、屋敷林への関心が高くなり、保全に熱心な意見がありました。一方維持管理に関する要望も寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>区民のみどりに関する意識は生活の多様化もあり、とても高い関心を示す方と全く関心を示さない方と大きく分かれていくと考えられます。</p>			
評価と課題	<p>みどりの顕彰制度で「後世にのこしたい杉並の屋敷林」を募集し、樹木樹林の保全に対する区民の関心も高まっています。みどりの普及啓発は広報紙面やイベントなどでPRを行っていますが、より視覚及び聴覚に訴える工夫が必要です。特に、みどりのベルトなど区民との協働で行われる事業はPR効果が高いため、映像などの記録媒体の使用や、ホームページなどを活用して公開していくなど普及啓発の在り方についても取り組みます。</p>				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
<p>平成24年度みどりの実態調査では緑被率は22.17%で、5年前より0.33%増加しました。「後世にのこしたい杉並の屋敷林」の顕彰へは60名から応募があり、区民のみどり保全に対する関心と期待は高く、屋敷林や農地が区民共有の資産であり後世にのこしていきたい杉並の原風景となっています。しかし、これまでの取り組み方法では民有地である屋敷林や農地の相続や開発による減少が止まりません。そこで平成25年度策定予定の(仮称)杉並区緑地保全方針では屋敷林や農地などの緑地を調査・評価し、評価に応じた保全方針を講じていくようにします。区民、事業者、区が一体となって屋敷林や農地を守っていく有効な制度を運用することにより、杉並らしいみどり豊かなまちの実現を将来にわたりめざしていきます。</p>						





平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 426

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		緑化計画の提出	1,904	件	123
		屋上・壁面緑化助成	123.1	m <sup>2</sup>	2,148
		寄付樹木受領件数	12	件	2,819
		公共施設の樹木管理維持管理委託	256	所	69,998
	その他( 接道部緑化助成・苗木の育成委託・みどりのリサイクル )				7,607
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	緑化計画書の提出1,904件の内訳(200m <sup>2</sup> 以上682件、200m <sup>2</sup> 未満1,222件) 緑化計画による計画接道部緑化延長6,354.4m(全接道延長の41.56%)、計画緑地面積171,710.6m <sup>2</sup> 、計画樹木本数104,700本 寄付樹木受領本数216本				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化助成制度は昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去も含め現在の助成制度の体系になっています。屋上・壁面緑化助成については平成14年10月から始まり、平成18年度に一部改正しています。平成24年度は、助成制度全体について改正し運用しました。その結果好評に推移し、11月には予算額に達しました。緑化計画は年々申請件数が増加する傾向にあります。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	緑化助成については、年度途中で予算額に達し打ち切りとなったため、対象となる工事で助成を受けられない方が発生し苦情がありました。また、道路の拡幅を伴う場合は塀の撤去費用が対象外となるため、苦情をいただくことがあります。緑化計画に関しては、杉並区の場合申請面積の下限を設けず、全ての建築行為を対象としている点の特徴ですが、浸透してきたこともあり不満の声は減りました。大規模の案件では、別の基準を持つ都と区双方にどちらの基準も満たす計画を提出する必要があるため、時に苦情をいただきます。
	今後の予測	東日本大震災を受けて、安全安心なまちなみをつくるうえで大谷石塀やブロック塀を改修し安全なものにしたいという潜在願望は増加しています。接道部の緑化手法は単調な生けがき型に比べ、短い接道部でも効果的に演出可能な、植え込み型が増加していくものと予想されます。屋上・壁面緑化は、節電やヒートアイランド現象対策のため、利用者は増加するものと思われます。
評価と課題	みどりの実態調査によると平成19年度、平成24年度と連続して、接道部緑化率・緑被率共に増加しており着実にみどりは増えています。現在の接道部・屋上・壁面の緑化助成制度や緑化計画制度は有効に機能していると思われ、今後もこれらの制度を検証しつつ活用しみどりの増加に努めます。なお、緑化助成は1件で最大150万円の支出となり先着順の利用となるため、計画的・安定的な支出が困難なことが課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し			
	○現行の緑化指導に、保護指定された樹木等を残した場合に、何らかの優遇を受けられる仕組みをつくることで、みどり豊かなまちなみを誘導する方策を検討します。また、緑化地域制度などの諸制度を調査し、導入した場合の費用対効果等の検証を行い、より有効な制度を検討します。大きな樹木の保全のための支援策として、敷地内での樹木移植費の助成制度なども研究していきます。					



## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 427

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助金交付件数	697	件	34,829
		区営苗圃の維持管理	3,816	㎡	6,534
		市民緑地の維持管理	2	所	945
		その他( 生き物生息場所の保全・創出 ほか )	996		
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	区内の保護指定は、保護樹木1,724本、貴重木40本、保護樹林444, 213.26㎡、保護生けがき6,559.59㎡となっています。そのほか区営苗圃3箇所3,816㎡、市民緑地2箇所1,682.8㎡があります。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護指定制度はみどりの条例ができた当初から柱となる制度で、今あるみどりを指定することで未来にわたり残す制度です。保護樹木及び保護生けがきは解除があるものの、新規指定もあるため大きな減少はありません。対して保護樹林は新規指定がほとんど発生しないため徐々に減少しています。24年度の保護樹林の新規指定は1件780㎡でした。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日照、落葉、掃除などの被害は程度の差こそあれ隣接者にも発生するため、樹木所有者が対策を怠っていると思われた場合、補助金を区から交付されていることに対する不満が多く寄せられます。樹木の維持管理は所有者の責務ですが、実際その経費に対して区の補助金が少額なため、区が強く維持管理をお願いするのは難しいのが現状です。その結果、住宅地での樹木と人の共存は難しく、公共施設での緑地確保を求める声が大きくなっています。
	今後の予測	個人所有の屋敷林は、相続による敷地の細分化や税金、維持管理費用の負担、近隣との問題などの理由により、伐採され宅地化が進み、ますます少なくなると予想されます。同様に個人所有の大木についても、近隣との問題などで伐採が進むことが予想されます。一方でマンションなどの大規模な集合住宅等では、まとまった新たなみどりが形成され、みどりの質が変化していく傾向が進むと思われます。
評価と課題	平成24年度末現在、保護指定制度により保護樹木1,724本、保護樹林 約44haなどが保全されていますが、特に個人所有の樹林地は今後も減少することが予想されます。屋敷林等の貴重なみどりを区民共有の財産として後世に引き継ぐため、特別樹林の運用や保護指定制度の充実を含む、「(仮称)杉並区緑地保全方針」の策定に取り組みます。	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	○ その他
	II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し		
保護樹木の指定本数は年によって増減はあるものの大きな変動は生じません。(1,700~1,800本前後)これは樹木が生長すると保護樹木級の太さになり次々と対象の樹木が出てくるためでもあります。一方毎年の集計でもわかるとおり保護樹林の減少が止まりません(平成20年度約50haであった保護樹林が、平成24年度には約44haとなっています)。現在の保護指定制度の保護の仕組みには限界があり、すべての樹木、樹林を現在の保護樹木制度で保全していくことは困難です。樹木や樹林を評価し優先度に応じ、市民緑地制度の活用や特別樹林などの新たな保護施策を導入していく必要があります。						



平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 428

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		みどりの基金寄附総額			830
		みどりの基金の利子			183
		その他( )			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	みどりのイベント、落ち葉感謝祭でみどりの基金のPR及び募金活動を行いました。また、ジャズストリートとタイアップしてみどりの基金をPRする「みどりの基金キャンペーン」を実施したり、地元のお祭りなどでみどりの基金に寄附がありました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年間の寄附総額が、概ね小額のまま推移しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	基金の使い道については人材育成などが色濃く出ていることから、みどりの保全に直接使われないなら寄附しないと言う意見があります。一方、チャリティーコンサートを企画実施するなど、協力する団体も現れてきています。
	今後の予測	色々な基金が設立されており、どの基金に寄附しようかと迷ってしまう状況です。そのため、基金の額は伸び悩むと思われます。
評価と課題	みどりの基金創設から10年、徐々に認知度も上がり寄附を継続していただける個人、団体も増えてきています。一方で何らかの基金に寄附をしたいと思う区民が、多くの基金の中からみどりの基金を選ぶかどうかは、どれだけPRをし、目的を明確化し、アピールができるかに左右されます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	平成22年5月に改定したみどりの基本計画の中でみどりの基金の主な用途は保全として運用すると明記されています。そのためみどりの基金は平成22年度より保護樹林の補助金に充当しています。杉並のみどりの7割を占める民有地のみどりの保全が重要な課題となっている中で、平成25年に策定予定の(仮称)緑地保全方針ではみどりを守るための具体的な制度を保全箇所別に検討していきます。みどりの基金はこの方針で策定した支援策に充てるなど、より具体的で効果的なみどり保全に使っていきます。					



## 平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 429

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		地域別ブロック方式清掃委託	17	所	11,901
		公衆便所の光熱水費	17	所	3,136
		公衆便所の維持補修	17	所	877
		公衆便所の管理運営	17	所	249
		その他( 公園便所の樹木管理 )			
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	現在、17箇所設置している公衆便所の維持管理のため、日常清掃、設備の改修及び施設の修繕などを実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。</p> <p>今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の協力を得るための方策などを検討していきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	